



ボーエ・モーエンセンがシェーカースタイルからインスピレーションを受け、1947年にデザインしたC18ダイニングテーブル。そのC18に、日本の住宅に最適な新サイズが登場しました。コンパクトながら、4人がゆったりと座ることができるサイズです。このサイズは天板がつき板仕様になります。

モーエンセンがデザインした当時、デンマークの首都コペンハーゲンには新たな職を求める人々で溢れ、住宅難に陥っていました。次第に居住スペースが狭くなり、簡素化した生活スタイルが主流となってきていました。そのような都市生活を送る人々をターゲットにデザインされたC18ダイニングテーブルは、一切の装飾を省いた非常にシンプルでコンパクトなものとなりました。C18の特徴ともいえる中央に位置する脚によって、座った時に脚が邪魔になることもなく、また椅子も自由に配置することができます。限られた空間を最大限活かす一方で、それをデザインとしてシンプルなテーブルに特徴づけたのです。

今回新しく登場したC18は、天板が140x85cmと従来よりコンパクトとなりましたが、椅子の配置に制限がないため4人がゆったりと食事をし、くつろぐには十分なサイズです。非常にシンプルなデザインなのでどんな空間にも主張しすぎず、様々な椅子とも相性が良いです。

シンプルなダイニングテーブルを季節に合わせた花やランチョンマットで彩りを与え、これから迎えるクリスマスやお正月など一年の様々なシーンをガラッと雰囲気を変えて楽しむ。そんな贅沢な生活を、このダイニングテーブルから始めてみてはいかがでしょうか？

デザイン：ボーエ・モーエンセン

サイズ：140x85x H71cm

材：ビーチ材 ラッカー仕上げ(つき板仕様)

価格：194,250円 税込み